

第28回電気絶縁材料シンポジウムの 開催にあたって

誘電・絶縁材料技術委員会

委員長 小崎 正光

本年は東京武蔵工業大学五島記念会館において第28回電気絶縁材料シンポジウムを開催する運びとなりました。過去3年間は、諸外国の関連学会と共催となる国際会議方式で本シンポジウムを成功裡に開催してまいりました。これは電気絶縁工学分野が学術領域においても地域的にもボーダレス化が着実に進行していることを実証しております。また同時に、30年ほど遡った時期に電気絶縁材料・技術の重要性に着眼し、本シンポジウムを発足させた諸先輩の先見性が順調に発展し、よい意味での伝統を築き上げてきた成果であります。高電界伝導、光伝導、部分放電、加速試験、電気・水トリー現象、複合劣化、モールド絶縁、放射線照射効果、油浸絶縁、耐熱性、難燃性、界面現象、極低温絶縁、有機薄膜、寿命予測、空間電荷計測、・・・など時機を捉れた課題を学理的・実用的に追究してきた本シンポジウムが、この分野に関係する研究者・技術者がそれぞれの立場から参加して、毎年定期的に交流出来る場として内外から高い評価を得ていることは喜ぶべきことであります。一見地味で縁の下の支え的な絶縁技術が、21世紀を目前にますます重要度を増す電気エネルギー安定供給の根幹に関わる技術であることを関係者が実感、体得しているが故に本シンポジウムの揺るぎ無い存在意義があるのです。今後、進展する電気絶縁の工学を一層深く追究すべく関係者の熱い思い入れを期待いたしますとともに、本シンポジウムへのご理解、ご提言、ご協力をお願い申し上げます。久しぶりに日本語での発表にあるいは戸惑われる向きもあるやに思います。今回はじっくり母国語で研究成果を発表・討論いたしましょう。

本シンポジウムにおける招待講演は、トリーイング現象を含めた絶縁破壊基礎過程の権威であるL. A. Dissado博士 (University of Leicester, 英国) をお願いいたしました。今回の予稿集に編集された総論文数は83件 (招待講演1件、一般講演42件、ポスター発表30件、調査専門委員会等の報告10件) となっております。

この度の海外招待講演の招聘にあたっては、電気学会国際交流基金による助成金をいただきました。また、予稿集の作成および本シンポジウムの準備を行って頂いた電気学会調査課の皆様、そして開催拠点として格別なるご尽力を頂いた高田達雄教授はじめ武蔵工業大学の皆様に心より感謝申し上げます。

今回のシンポジウムの開催に主体的に取り組んで頂いた誘電・絶縁材料技術委員会委員の方々は、下記の通りです。ここに日頃の技術委員活動のご支援も併せて厚くお礼申し上げます。

◎プログラム委員長、○プログラム委員

〔幹事〕 ○大木義路、○三井久安

- 〔幹事補佐〕 ○宮田裕之, ○田中康寛, 途中退任: 穂積直裕
 〔一号委員〕 秋山俊雄, ○稲岡一義, 海老沼康光, ○勝田銀造,
 加藤 寛, ○清原 紀, 渋谷義一, ◎高田達雄
 ○高橋憲司, ○武内良三, 丹羽利夫, ○芳賀弘二,
 畑 良輔, 林 義記
 〔二号委員〕 ○岩本光正, 岡本達希, ○工藤勝利, 田中紀捷,
 津久井勤, 速水敏幸, 日高邦彦, 山下久直

誘電・絶縁材料技術委員会の本年度の活動を報告させていただきます。

- (1) 調査専門委員会: () 内は委員長
- ① プリント基板更新理性絶縁技術 (小林繁雄) H 5.4 ~ H 8.3
 - ② 有機配列制御薄膜の電子・光機能およびその評価技術 (岩本光正) H 5.10 ~ H 8.9
 - ③ トリーイング劣化基礎過程 (工藤勝利) H 6.4 ~ H 9.3
 - ④ 複合絶縁の界面現象 (田中紀捷) H 7.1 ~ H 9.12
 - ⑤ 絶縁材料の劣化と機器・ケーブルの絶縁劣化判定 (速水敏幸) H 8.1 ~ H 10.12
 - ⑥ 高温電気絶縁 (岡本達希) H 8.1 ~ H 10.12
 - ⑦ 電子機器絶縁信頼性評価方法 (津久井 勤) H 8.4 ~ H 11.3
 - ⑧ 電気・光変換機能の基本原理及びその新応用分野 (日高邦彦) H 8.4 ~ H 11.3
- (2) 協同研究委員会: () 内は委員長
- ① アジアの電気絶縁の情報発信 (山下久直) H 6.4 ~ H 8.3
 - ② 電気絶縁におけるアジアの情報発信 (山下久直) H 8.4 ~ H 10.3
- (3) 誘電・絶縁材料研究会
- ① トリーイング・放電一般 (7月22, 23日, 盛岡) IEEE DEIS 東京支部及び放電研究会と共催
 - ② 電子機器絶縁関連 (9月11日, 東京) 東京支部連合研究会
 - ③ 有機超薄膜関連 (9月26日, 大阪)
 - ④ 液晶表示材料・有機エレクトロニクス (11月, 富山) 電子情報通信学会と共催
 - ⑤ 空間電荷と高電界, 機器ケーブル絶縁およびその他 (11月27, 28日, 仙台) A部門総合研究会
 - ⑥ 放射線劣化・機器分析 (12月10日, 高崎)
 - ⑦ 高温絶縁 (1月, 豊橋)
 - ⑧ 気体放電・液体放電・高電圧一般 (1月, 熊本) 放電研究会と共催
 - ⑨ 機能性有機薄膜 (1月, 名古屋)
 - ⑩ 国際会議紹介 (2月, 東京) IEEE DEIS 東京支部と共催
 - ⑪ 界面絶縁 (3月, 名古屋)
- (4) 若手セミナー: 平成8年度は開催を休んで, 以後隔年開催とします。
- (5) 全国大会シンポジウム: 3月27日, 早稲田大学, 東京
 誘電・絶縁材料の分析法の新展開